

問24 下有知について、あなたの意見をご自由にお書きください。

自治会・コミュニティ

(16歳～19歳)

過度に保守的、排他的、トーンが暗く、基本的にネガティブな精神風土(山村か北陸の冬のイメージ)。長老格や代々続いた古株がキャスティングボードを握っており、硬直化して弾力性もなく、さりとて守るべき有形無形の文化もないのに現状維持の為にコストや手間を要する。フラストレーションだけが溜まっていく。税負担を軽減できることが明確な(明朗な)インフラ整備・環境整備の為にコミュニティからのドラスティックな関与の仕方がないか探つてゆくことは意味があるが、思考停止してしまった硬直化前例主義(一度前例を作ると大きく重くのしかかり、見直し徹廃という引き算には尋常ならざるエネルギーを要する。)に陥り易い土地柄なので、大変リスク。

(20歳～29歳)

区会と自治会組織が一つにならないのでしょうか？区会は必要ですか？

行事や役などが多すぎる。減らすことを考えてほしい。

昔からの地域の連帯は大切なことだとは思いますが、新しく来たものを排除することは常識的に間違っていると思います。小中学校でのいじめと同じだと思う。大人がそんなことしていたら、、、下有知の地区すべてがそうではないと思いますが、上記のように考える人が多くいることも考えてほしい。自治会というものは役所等からいろいろな情報、連携等を得ることができるが、自治会不加入者がその自治会で得ているものを得られないということは、同じ市民税を納税しているのに不平等だと思う。

アパート暮らしであり、地域の人と関わりもないため、かかわりを持つ機会があるとうれしい。

若者が少なく年寄が多いため、考えが古く、若い人たちが委縮してしまう。昔の人達が自治会にかかわっている以上、集会や行事など参加しても何かとやりにくい。

個人的な意見ですが、昔からの住民と新しく住む人たちが、仲良くやれたらいいですね。絆を深める、、、難しいですね。

前回住んでいた町と比べて、下有知はとても人間が閉鎖的で話しにくい体質、人間性を感じます。人として、お互い思いやり協力し合える町、受け入れる交流と、間に入る方々、お世話役の方に問題があるのではないかと思います。

(30歳～39歳)

自治会に加入の際の高額な入会金を減額する。加入することで得られるメリットを提示する。利便性に優れていると思う。他にも街化していなく適度な田舎の環境も魅力だと思う。住人としては住みやすく気に入っている。ただ、閉鎖的な人間関係は少し気になる。他の地域と関わっていく取組、交流などが今後必要だと思う。自然や文化が残っているので、これらを生かした地域交流をして、活性化を図っていただけたいのではないだろうか。

「オレは20数年前からここに住んでいるんだ！」とブツブツなにかと文句を言ってくる年寄がいる。新参者に対し威圧的な姿勢をとられては、住み続けたいと思えなくなる。当然、地域のために何かしてみようという気持ちは起こりません。持家でなければ即、ここを離れていると思います。新しい家が並んだ団地で新しい生活を楽しみにしていたのに、実際住めば昔から住んでいる人たちの古い意見で固められた閉鎖的な感で残念です。

地域の人は良い人ばかり。けれどなかなか関わりをもつ機会がない。集会などをやってもらえると、顔も名前も覚えられるので、新しく入ってきた自分たちのような夫婦でも、もっとすんなり地域にとけこめるのでは。とはいいいながら、特に何もしないのが気楽で良いところでもある。下有知はいいところです。

今、下有知は以前からの住人と新しく入居された方がうまく交流していくための分岐点になっていると思います。新しく下有知地区に入居された方がうまく交流できるようなしくみを作ることが今後の下有知の発展につながっていくと思います。昔から大事にしている地域の関係性を保ちながら、新しく入居される方がストレスに感じることなく地域になじんでいけるようなしくみ作りができるとより発展していけると思います。

地域のコミュニティが大切、面倒がっていたら「いざ」と言うときに助けてくれません。自治会で助け合い、災害が起きれば近くの他人が助けてくれます。自治会が大切。

新しい世帯がふえ、自治会未加入の世帯があります。昔からの世帯の負担がおもく新しい世帯の負担が少なく不公平。

とにかく住みにくい。昔の風習がありすぎてめんどろ。簡素化するべき。

古くからある自治会の影響がありすぎて、すごく閉鎖的な雰囲気がある。

下有知に嫁いで10年になります。近所付き合いがたくさんあるので、私も〇〇さんのお嫁さんとかわいがってもらい今は名前で呼んでもらって近所の方に色々と助けて頂いています。私は、義父・義母が近くに居てくれるので地域の輪の中に入る事ができましたが、新しくお家を建てられて下有知にみえた若い家族の方は地域に馴染めているのか？と思う事があります。

PTA役員を地元卒業生の方から決めるのは不平等です。とにかく自治会に加入している若い人は色々大変な事ばかりおしつけられるみたいで自治会に加入していない人は自由な日々を過ごしていて、消防にしてもPTAにしても関係ないのはおかしい。国民年金を市が強制的に回収していくように、自治会や消防は全員やるようにしていかないと不平等で自治会には加入しないと思う。とにかく地元の自治会加入している家の人が大変な思いをして、外から来た人が楽しく過ごしているのはダメです。もっと平等にすればありがたいです。

新しく引っ越してきたときは、自治会のこと、ゴミ出しのことなどわからないことがあって困りましたが、近所の方が教えてください助かりました。新しく住まれる人に親切にいろいろ教えてあげられる環境づくりは大事だと思います。散歩などしているときにすれ違う時など挨拶しあえたり、小さい子を連れてると声をかけてもらえたりして、あたたかい人が多いように思うのでうれしいです。

昔からの年配の人のうわさ話や仲間外れなど、それを気にして誰も何も言わなくなっている。もっと考え方を柔軟にしてもらいたい。必要以上に気を使わなくてはならない。

地域独特の強すぎるつながりもとても大切だと思いますが、新しく下有知市民となった者にとっては、ある程度の距離も心地よさを感じ、少しずつ周辺の方々と距離を深くしていきたいと思えます。強制的なものではない交流ですと嬉しいです。

若い世代、子育て世代にとっては、「自治会」というような昔ながらの強制力を感じることは、負担が大きく、その負担(役や行事や費用)を減らすことが重要だと思う。そして、未加入にかかわらず、親切な態度で接しただけだとうれしく思う。

煩わしいことを減らす。自治会への加入金額を低くする。若い人に主導してもらおう。

自治会に加入していない方に(特にアパートや新築で下有知に住む方など)加入のすすめをしてほしい。

(40歳～49歳)

自治会の行事や役など、改革するにも長老と呼ばれる方々がいてなかなか変わらないのが現状です。付き合いが面倒で地域からでていく人もいれば移住してきて付き合いが面倒だからと自治会に加入しない人もいます。昔とは違うということをもっと理解しないと若者は減り、高齢者ばかりとなってしまいます。

昔ながらの風習があるため、非常に閉鎖的な地域であると思う。そのため、新今宮という自治会ができ消防団等の地域参加しないようになったのは、元々は地元住民が招いた結果であると考えます。その方々が「地域を良く」という活動をして無意味であると考えます。まずは古臭い風習をどう考えるかを考えた方が良くと思います。

新規の住宅を作るときは自治会加入を条件とする。(手引きの作成)
入会金の見直し。受け入れ側の意識改革。
マンネリ化している行事を見直す。例えば体育委員の行事などは現代のニーズにあっていないし、目的がずれていると思われる。

自治会が昔ながらの考えを変え、新しい自治会加入者を増やす努力をする。

自治会内での世代交代を円滑に出来ると良い。長老支配の風潮が脈々と存在することが、自治会加入を拒む理由の一因ではないか。

新しく自治会に入る世帯に対して入会時の負担が大きすぎるので、新たな考え方で加入を進めるべきだと思う。最近、新住宅も建ちはじめ、子供たちも増えているのに加入できないのはやはりおかしいと思います。

永年、下有知に居住している世帯と新しく宅地された地域で一戸建てを購入した世帯との垣根がある。昔からの風習が邪魔をして交わり合えない空気がある。お互いが理解し合い歩み寄りも必要だと思う。

自治会に加入できない、加入しない世帯を減らす工夫や努力が必要。区と自治会の区別がつかないと感じる事がある。区と自治会の役割を明確に示す必要があるのでは。

嫁いできて思った事は、下有知はとても閉鎖的な町だということです。町内の役員は地元出身でなければいけないなど(現在はどうか分かりませんが、以前そのように聞きました)、新しい意見も反映されづらいと感じます。

自治会未加入の方にも自治会活動の事をお知らせしたりすると、感心を持ってもらえるのではないかと思います。

他市より、下有知の人と結婚し、下有知に住むようになりました。下有知は、昔から住んでいる人の地元意識がとても強い地域だと思います。せっかく若い人たちが住み始め、下有知の住民として暮らし始めているのに、なぜ若い人たちにこれからも続く下有知のよさを伝え守っていかないのか不思議です。消防団も下有知のなかでも実際に住んでいる地区と加入している消防団の地区が違う人がいると聞いています。若い人たちに自治会に加入してもらい、下有知は下有知の人たちで守り続けていくという考え方に、年配の人たちが変わらない限り、下有知は住みよいまちにはなっていないと思います。

下有知に住み14年になりますが、日常生活で不便と感じたことはほとんどありません。現在は市営の集合住宅に住んでいるので、その周囲のことはわかりますが、他の自治会の様子はあまり知りません。今後、一戸建てや別の賃貸住宅に住んだ時に心地良い生活環境が今と変わらず続くことを願いたいと思います。今の住宅では、以前から住んでいる方は、とても付き合いやすい方達ですが、入れ替わりもあるため、新しい方達は、閉鎖的になりがちです。やはり、人と人の付き合いが何よりも良い環境作りの一つだと思います。

昔からあるものを大切にすることは大事なことです。ですが、もともとここ(下有知)に長く住んでいる方(代々住んできた方)と、そうでない人は扱いが違うことをたくさん感じました。何度もつらい悲しい思いをしました。自治会についても、よそ者はよそ者で、という見解で長い間どの自治会にも入れてもらえませんでした。同じ人間です。けがれるのでしょうか。行事などもよそ者だから、とりあえず参加させてただける子ども会があるだけでも感謝しないといけないと思いますが、同和問題のようなものが残っている地区だと感じています。これがなくなったとき、誰もが幸せに暮らせる地域にかわると感じています。よそ者の意見ですが、聞いてくださるとありがたいです。

自治会の加入の有無によって、例えば災害時物資の支給や情報がとどこおる事はさけてほしい。

下有知はめんどくさい人が多い。大きい役をやりたがらない。当たっても周りの協力は無い。自分一人で一年間つらい思いをする。任期が2年間の場合、当たると地獄。自分の生活を犠牲にして町内活動は大変。しっかり活動しても悪く言う老人も多い。ある程度の年齢になったら団地から出て行ってほしい。老人は身勝手すぎるから近所の悪口しかいわない。話題はすべて近所の話のみ。いつまでも表でしゃべっている老人はめんどくさい人多すぎる。

老人はやることがないので外でいつまでもだらだらと近所の悪口ばかり長時間同じ話ばかりしている。表で集まって近所の噂話ばかりしていてめいわく。老人は身勝手が多いからめんどくさい。一定の年齢になったら出ていくべき。町内の大きな役員は年寄りだからできないといって逃れようとする。年寄りが少なくなれば住み良いまちづくりができる。老人にきちんと常識のマナー教室を開いて参加させること。

自治会加入を増やす考えがあるなら、ことわる意味がわからない。市の取り組みが悪いと思う。

(50歳～59歳)

昔からの住民と新しく来た住民との壁が大きいと思います。イベントなども同じ人が来るだけで、年間行事の活動の見直しが必要ではないですか。

区をなくし、自治連支部のみとした方が良い。(区長はいらない)
新しく来た人が古くから住んでいる人に自由に意見が言えるようにする。(よそ者扱いしない)

隣近所の人顔がみえ、高齢化が進んでも、お互いにいたわりあえる近所付き合いができると良いと思います。

下有知内でも関ノ上に住んでいるため、下有知住民という意識より関ノ上単体の意識しかありません。古くからの住民の多い下有知と関ノ上が協力できる地域になればと思います。

転居してきたときは自治会に入れてやらないといい、いまは自治会に入れるという。転居してきた人にやさしくないと思う。

自治会の人数が年々減っているため、毎年何らかの役員が回ってきます。いろいろな役が多すぎると思うので、いらぬものは無くしていかないと精神的に負担が重くつらいです。これからは少人数の自治会はいくつかまとめるとか、大きな役は免除するなどしてほしいです。年をとっていくとどんどん不安になります。

昔の古い伝統も残しつつ、省けるものは簡単にして、若い人たちの負担を軽くし、新しく自治会を作ってみてはどうでしょう。

私の周りに単身世帯が増えました。役員など大変な方は免除したりする配慮が必要。
学校の役員と自治会の役員の重複はしない。自分自身、子育て中の役が3つも重なったり、子育てが十分できずゆとりがほしかったと思うので、住民の優しさがあつたら住みやすい下有知になるのでは。

住民同士の助け合いは大切なことだと思いますが、それ以前に家族の助け合いが必要だと思います。家庭内で解決できない事案は近所や地域の人たちが手を差し伸べることが、住みよい地域づくりにつながると思います。

私は昔から住んでいるため下有知のことが逆によくわからない。新しく住み始めた人の意見をもっととり入れていくべきで新しい時代の下有知を作っていくことが大切。何か目玉になるものを作るのも必要。

昔からの方々は、新しい住人との交流を嫌がり、新しい住人が入りにくい。新旧の間に入るお世話役の方が、もっと広い気持ちで受け入れる方でないと、なかなか住み良い町にならず、絆を深めるのも難しいと思います。いつまでたっても良いまちにはならない。

(60歳～64歳)

一昔前は、向こう三軒両隣が家族の様な付き合い、助け合い、思いやりがありました。最近では余計なお世話ぐらいの思いを抱く人たちが多くなっている感じがします。勇気を持って声かけやら手助け等、自分の家族だと思って接することが出来たら良いコミュニケーションができると思います。地理的にも気候的にもとても恵まれた地域だと思います。そのため穏やかな人や温厚な人が多いと思います。安心して住める地区だと思っています。

下有知に来て30年以上になります。初めは閉鎖的な地域で大変でした。以前は町内でみんながあいさつをしていたのですが、最近の若い方は、あいさつもしない方が多く、町内でも知らない人が多くなりました。このようなことは、他の町内でも同じなのでしょうか。

関ノ上に老人クラブの活動が全く見られない。老人同志のコミュニケーションを取ってこれからの残りの人生を楽しく、有意義なものとして行きたい。下有知地域といっても新しい団地とのコミュニケーションがないのが残念です。下有知ふれあいのまちづくり推進委員会などに参加したいと希望がありますが、どうしたらよいのかわかりません。

当自治会では子供会事業に注力している。当然自治会加入者を対象としたものであり、このことで組織率を高く維持し、他の住民とのふれあいのきっかけづくりとなっている。他地区において組織率の低い自治会の参考になればと思い記す。

下有知は、地域が広く、昔から住んでみえる方々が神社等を守ってみえます。実母は47年前に下有知に転入しましたが、自分の所属している自治会を中心とした地域のこと以外は、正直に申し上げて、良くわかっていません。最近では、下有知地域に新しく転入された方が増えているように感じます。昔からの方と新しい方との間には、地域の情報について大きな差があるように思います。地域の広さと情報の差のあることの2点は、絆を深めるためには、考慮する必要があると思います。

地元でないといよその扱いをされるとよく耳にしましたが、今では新しい家を建て転入者が増えてきているようです。もっと若い人とも話しをできるように意見が言える場所を設けては。

自治会の組織図がわかりづらかった。隣の方が他の組織であり、何か災害があった時など、自治会としての役割がはたせるか疑問だ。年齢構成、高齢・少子化が進むこと、税収入も減るとなると、個々の負担をもっとお願いしなくてはならなくなるから、地域、自治会の役割はさらに大きくなると思います。

(65歳～74歳)

昔から住んでいる人はたちはつながりがあると思います。新しく住むようになった人とも親しくなりたい。

近くの人達が仲良くする。何かあった時、助けあえるように。(深く入りこまない程度に)

総体的には、安全で住みやすい所だと思います。しかし、これからのことを考えると、取り組む課題があるように思います。

各組織、団体の役割が時代の変化の中であいまいになり、各々の活動がバラバラになり存在意識が少なくなってきたように思います。このことを打開するためには、組織的な自立した自治活動を進めることができるようなしくみづくり(中核となる統括組織づくりと各種組織・団体の連携強化)が必要であると考えます。

地域を良くしていくには、地域全体そして全員の参加が必須であると考えます。いかに地域全体が意義を理解してくれて参画できる組織となるのか。そんな組織になること希望を持っています。

下有知区が広すぎて、まとまりがないように思います。

旧住民は自治会入会率も高いが、若人成人で一戸建てに住んでいても加入がなく、またマンション、アパート住人は特に地域住民との間のコミュニケーションもないので、都会の社会のように小規模多機能型住宅介護事件が起こっても判らない地域の不安を感じる。条例など罰則を伴わないもので、コミュニケーションの場に出るようにすることができないものではないでしょうか。個人情報問題もあり、学校などでも子ども同士の遊びが出来なく家に引きこもり(塾へ通うなど)が多く、学校外での子供の遊ぶ姿が少なくなっている。大人になれば孤独社会にますますなるような気がします。

自治会の奉仕活動が多すぎます。今の社会は土日出勤の人が多いです。小さい子供のいる家庭や高齢者のみの家には本当に負担です。また冠婚葬祭の付き合いも大変です。親戚でもない近所の人を呼ばなくてははいけません。どうにかならないのかと思います。

気軽に声を掛け合うことができるとよいと思います。

自治会のまとまりがなくなってきた。

隣近所同士が声かけあって交流を盛んにする。

地域活動の責任者、指導者として活動している人が平均的に高齢化している。現行組織を少なくする。

自治会の活動日数を減らすことにより、個人の負担を軽減したほうがよいと思う。

現在、下有知地区には各種組織がありますが、自治会と区会は二重組織ではないかと感じています。決定機関も明確でなく、重複して行っていることや内容が相互に伝わっていないこともあります。区会で行っている行事も、自治会で行うのが本来の姿のような気がします。会費も両方支払わなければならない、転入者や若い人には理解しづらいとの意見もあります。地域委員会もできることから、組織が複雑にならないように見直し整理をして、わかりやすくしてはどうでしょうか。

自治会への加入をしていない方が私たちの近くでもあります。自治会と自治会の境界線がめちゃくちゃで、例えば、この用水からこちらは…とか、この道路までは…というはっきりしたものがなく、となり同士に住んでいても、また近所で住んでいてもお互い自治会の加入先が違う家があります。私たちは下有知に住み40年余りたちますが、自治会に加入する時も自治会長さん達が検討されOKが出ました。それから今も変わっていないような気がします。このような制度、しきたりをなくして、この地域に住めば自動的にその自治会に入会できるようになればみんなが自治会に入会でき、地域の活動ができるようになるのではと私なりに思っております。

地付きと他者の区別があるので地付きがいばって他者が控えるしきたりの中では、他者は付き合いにくいです。今でも地付きと他者をはっきり言われる方がいます。それがこの地域の風習かもしれません。

何かしようと思えば、組織が必要。現在の自治会組織に規約が必要だが、3、40年も前の規約が現状に合わない。提案として

1. 全自治会の自治会規約を見直しさせること。
2. モデル草案を起案し、配布せよ。役員役目、責任範囲、権限など明確にし、若い人を登用する。
3. 現状使用されている規約を十分に把握し、問題点を抽出しないと不備を招く。

※基本的なことからはじめることが肝要。

(75歳～84歳)

旧の自治会は高齢化が進んでおり、新しくできた自治会は、比較的若い世代中心である。今後、旧と新が連携して、より良い地域を作れるようにする。(いろいろなことを協力して行う。地域防災を含めて。)

自治会費が住んでいるところにより違うということを聞きましたが金銭面での負担だけでなく役が多いとか消防団の有無などデメリットに感じている人が多いように思います。新しく加入される人にメリットを感じてもらえるような活動並びに広報することと排他的、閉鎖的に「ならないようアットホームな環境づくりも必要か」と思います。

昔からの行事で当番が回って来た時、とても悩みます。忘れるようになったし車にも乗れないので責任をもってやる仕事はとても大変なことです。何かいい考えをしていただけたらありがたいと思います。

コミュニケーションのとれる機会を多く持って、そこで話し合いをできたらよいと思う。特に顔を多く合わせる中において、何らかの形で何か生まれてくると思う。

40年前に自治会に入れなかった。子どもがまだ小学校だったので大変苦労しました。

どこに住んでいるのと聞かれるので、下有知に住んでいるというと、下有知いいところだと言われることがあります。下有知に帰ってきなさいと私は言うことがあります。(持ち家でない人に)

(85歳～)

下有知は昔から農地が多く安心して住める暮らしよい地域です。外来者と仲良く暮らしたいものです。徳は隣に在りです

まちづくり全般

(16歳～19歳)

下有知という地区は、幼児から中学卒業まで変わることなくずっと一緒に生活するという良い点もありますが、それが一つ間違えばやり直しがきかないという悪いことにつながります。もっと情報をオープンにしていろいろな地区、学校、地域の人たちとの交流の場などを増やし、だれでも入っていきやすい環境をつくるべきだと思います。

下有知の魅力がいまいちわからない。

(20歳～29歳)

今のままで良い。これ以上行事など増やしてほしくない。生活に余裕がない。

ボランティアについては、個人の意識がないと参加する人は少ないと思います。また、特典はまだいいと思いますが、謝礼を支給するとなると本来の「ボランティア」という意味がないと思うのですが。

下有知は小・中学校と同じメンバーで9年間を共にすることで、「絆」を強くすることができていると思います。地域が主となつての年代を超えての同窓会やイベントを企画し、そこから地域の繋がりや、地域愛を思い出していく工夫が必要ではないかと思う。老若男女みんなで下有知を活性化し、過疎や孤独死のない地域にしたいと思います。

地域の活動は、下有知ふれあいまちづくり委員会をはじめ、青少年健全育成、老人会、PTA、自治会などいろいろな会それぞれ活動をされているが、連携してできるようになるともっと良くなると思います。行事の開催にあたり、住民がどこでどんな事がやっているか分かるようなアピールが必要だと思う。ふれあいセンターをもっと活用できるといいと思う。

街おこしをする。

下有知は広いので、もっと交流が持てる場が増えるといいなと思います。4月のお祭りやじぞう祭などといった機会が増えるといいです。

大学生の私が気軽に参加できるようなボランティア情報を月に1回提供して欲しい。

子育てや災害時の事など不安なことも多いです。高齢者の方の見守りなど機会があれば参加したいです。

(30歳～39歳)

自治会マップ(自治会レベルで、どこに避難所があるかとか、だれがどこに住んでいるか、通学路がわかる地図)があれば、移住してきた人にも良いのではないかな。

学校、地域、福祉を含めた交流行事が少ないと思います。青年の活躍できる場があってもよいと思います。また、新しい世帯との交流が増えたらもう少し活性されるのでは。

現在は一時的な住まいであり、自治会活動に参加できず申し訳ありません。しかし、このように地域ぐるみで住む場をよくしていこうという姿勢、目に見える活動をされていることに感激しております。積極的な協力はできませんが、子どもたちが、ご老人が、安心して外に出かけられるよう、自分自身も交通安全など注意していこうと思います。下有知に住んで短いですが、大きな不便はなく、きれいなまちだと思います。これからの活躍をお祈り申し上げます。

(40歳～49歳)

消防団の人数を増やす動きがあると聞きました。自分たちの地域を自分たちで守るということは大切なことだとは思いますが、個人や家族への負担はとても大きいのではないのでしょうか。地区で何人と割り振られ、その地区は少ないからもっと増やせとはなんかおかしいと思います。個人の時間、仕事等みなさんが大事にされなければいけないのになあと感じます。まさにボランティアなのでは。無理にやってもらうには、それなりの謝礼等が必要なのではないのでしょうか。なんでもそうですが「やった方がよい」というものを「やらなければならない」にすりかえられないようにしてほしいです。

住み良い地域の為には計画的なまちづくりが必要ではないか。現在は団地の乱開発ともとれる無計画な造成が進んでいる。道路などインフラがあっていない。単に道路を増やせばムダな税金の投入になります。今一度見直しが必要ではないか。

核家族が多く、そして老若どちらかに偏っている傾向が強いの、「帯に短したすきに長し」といった状況であるという印象。年寄ばかりで、病院へ通うのが難しかったり、共働きで夕方子供を見ってくれる大人がいなかったり。「下有知」という大きな家族として現状を捉えるのであれば、子育て中の若者が老人の送迎を手伝ったり、家に一人でいる老人が下校後の子供を見てくれたりという家族のような関係を築けるのではないかなと思う。年金が減少している今の世の中、無償でというのは難しく、何らかのメリットは必要か。子供の場合も同様と思う。

地域の行事に参加するのはいいのですが、不定期の休みなので年度の始めに行事の予定がわかれば参加しやすいです。

地域住民が協力し合える風土ができるように、老若男女がふれあえる活動が充実するとよいと思う。

ミニ集会を開いて、ふだん聞いてみたいこととかを輪になって情報を得たりできたらいいと思います。大きな集会だとなかなか言えない事もあり、気軽に集まれる場づくりがほしいですね。

関市自体が財政難に陥り破綻するのではと危惧される中、下有知が少しでも長く生き伸びれるべく対策が第一である。その為に人口の減少を防ぐべく対策が急務と思われます。それには若い人が定住出来る環境が第一で雇用・住居の確保・子育て支援が大事と思われます。

住民同士の交流が少なく挨拶をする人が少ない。下有知の人達が集まって意見交換が出来る場があると良いかなと思います。子供達とお年寄りの方との交流の場を作ってほしい。

下有知全体のことはよくわかりませんが私たち家族の地域では、もともとの住人ではありませんが、縁あってこちらに住むようになって温かく自治会に受け入れて頂き、とても感謝しております。住民となって約15年ですが大きなトラブルもなく幸せに暮らせてもらっています。今一番気になっている事は防災面です。地震があった時等の避難方法や場所と、今はまだ夫婦40代と50代と若いですが、親を看取る不安と自分たちの老後、あと子育てが少し一段落した今、これから何かお役にたてる事には貢献したいです。

しもうちコミュニティ(ホームページ)について。登録ページにSSL導入を提案する。ホームページだけでなく、電子メールによるメール配信、SIUSの活用などを提案する

住みよい地域にするためには、他の市よりも税金を減らし、子供の育てやすい環境を整えることが必要なのではないかと思います。そして、法人税も減らし、多くの企業が入りやすくなるといいのではないかと思います。

下有知ふれあいセンターや公民館のような場所を活用すると、住民同士の関係もよりよいものになると思います。ただ、強制的にならないことが大切。自由に参加できる場や機会を多く設定するといいです。退職された後、家にみえるお年寄りの方たちに働いてもらえるよう、すすめてはどうかと思う。予算があれば有償で。

子ども、高齢者のことを守れる環境というのが優しい地域になっていくと思います。子どもたちが安心して外で遊べるよう、高齢者が孤独にならないようないい案が出てこればいいなど。具体的に思いつかなくてすいません。

地域の中で集まって話し合える場を設けてほしい。そこで出た意見を元にイベントを実施する。元々ある伝統的な行事も説明してもらい、理解したうえで参加できる状況を見つけれられるようにしてほしい。

(50歳～59歳)

当地区は自然環境も良く交通の便もわるくない。どちらかと言えば住み良い環境にあると思います。自治会、区会もしっかりしており地域住民の結束もある方だと思います。しかし、どこの地域も高齢化により、数十年すれば結束もなくなってしまうように思います。若い人たちが地区の諸活動に積極的に参加するように工夫が必要ではないかと思います。一番は子供を通じた活動、親子参加型のイベント、ボランティア、勉強会等の活動を増やす事だと思います。子供を通して若い親世代のネットワークを作り、「地域の子供は地域全体で育てる」感ができれば青少年育成にも通ずると思います。「地域の子供は地域全体で守る」感ができれば防犯意識の高揚にもつながり、独居老人等弱者にやさしい街づくりができりのではないかと思います。

全員ではありませんが、外を歩いていると小学生や中学生から挨拶されるのがとても気持ちが良いです。

嫁にきてから27年がたちますが、定例の常会が月1回行われ、町内の清掃活動、子供会活動、まつり、軽スポーツ活動等が行われ、地域住民とのつながりのある町内会で大変気持ちよく生活できています。これ以上、あまりイベントや活動が増えると負担が増えるので、悪循環にならないようにしてください。仕事のある日もあるので仕事のない土・日は休みたい。家族のことをしたいと思っています。

下有知地区内においても、若い世代が増えている地区と高齢者の方が増え空き家になっている地区があるように感じます。下有知の子どもたちは小学校からそのまま中学校へ入学し、他のところよりまとまりがあるのではないかと思います。田んぼや畑で働いていた高齢者の方がいなくなりましたが、通学路を見守ってくれたのも事実、今度はそのような方々も一緒に、若い世代が見守っていける下有知地区にできるとよいと思います。

下有知に住み約20年になりますが、地域の方々とのかかわりはほとんどありませんでした。共働きで行事等に参加する余裕はありませんでした。年を重ねてくると、人と人の関わりは大事で、大切にしなければいけないと思うようになりました。住民の絆を深めるためには、公園の美化、花いっぱい運動などを実施し、花壇のコンクールを行うなど、イベントを行うと良いと思ったりします。また、先頭に立って、活動するリーダーの育成等も必要ですね。住んでよかったと思えるまちにしたいですね。

仕事をしているため、平日に参加する事や長時間は無理なので、短時間で交流出来る事があればいいと思います。

伝統文化の伝承、継承は結構だが、しきたり慣習という制度はいかがなものかと。

下有知は十分住みよい町だと思います。歩道の整備などをお願いしたいと思います。情報提供交換を合せてよりよい町作りを目指していけたらと思います。

下有知を住みやすい地域にするのはいいと思うのですが、活動が増えれば個人の負担も多くなります。役員をするのに忙しくて参加できない人ややりたくない人もいます。ボランティアでお手伝いしたい人がやってくれと助かります。昔からの伝統の一つの山の講ですが、役員の親の負担が多いです。子どもは楽しいですが、働いている親も多い中、続けていくのもどうかと思います。

近所付き合い向上、集会の参加、イベント等、ボランティア

こういう事業は役員が大変になるんでやめてください

文化的な情報発信をもっと行ってはどうですか。歴史的遺産に関する情報やイベント、音楽活動を行う団体・グループ情報や仲間募集情報、地域内外有識者による講座(“星の教室”のような)など。

(60歳～64歳)

ふれあいまちづくり推進委員会、存在すら知らなかった。情報が入ってこないのわからない。これから歳を老いていくことを考えると地域のみなさまとの交流があれば生きがいとして生活していけるとよいと考えています。今まで仕事ばかりでそちらの方には関心がなかったです。日々の生活におわれていました。少しゆとりができたならば変わっていくと思っています。住みやすい街づくりよろしく願いいたします。

新しい住人も増加していると思います。次世代の人に下有知に住んで良かったと思える地域になるといいと思います。

地域への思いが世代によって相当異なるように思います。各世代のリーダーを作り、下有知全体をまとめるとよいと思います。

昔と比べると、人口が増えて、いろいろな人が入っています。それは良いことですが、今の世の中と同じで、グローバル化しているので、まとめるのは大変むづかしいのかなと思います。私は生まれた時から下有知に住んでいますが、人間関係がギスギスしてきたなあと思われます。自分さえ良ければいいという考え方でなく子供・孫の代の時代(将来のこと)を考えて行動できるといいなあ。

若い世代がとても少ないので近所の方と関わりが持ちづらい。もう少し若者が住みたいと思える(帰って帰りたいと思える)地域づくりができればいいなと思います。

運動会の実施、防災訓練の実施、クリーン活動の一斉実施など既存の活動を定例的に行っていくこと。解決するための方策を自ら考えてもらうようにしむけること。さまざまな考え方をよく整頓してみる。前進するためには必要ではないでしょうか。

大雨が降っても道路に水がたまって困ることは少ないように思う。水はけはよく道路が整備されており、昔から住んでおられる方々の苦勞あつての(土地を守られている)環境だと思います。その一方でそれぞれ住民の方によそ者という考えが全くない人ばかりとも言いがたい。しかし、高齢者や老人世帯が多くなって来ている中助け合い精神が引き出せるような決まりごとがあると相方が理解してゆきやすいのではないかと思います。

(65歳～74歳)

下有知規則を作成する。

さまざまな団体の活動の内容を住民に知らせてください。
小・中の役員選任方法が間違っているのでは。現在は、地元で生まれ育った人を対象に選任されていますが、全住民を対象にして選任してほしい。

女性の地域として活動する。健康づくり推進委員、日赤奉仕団、二つの団体がありますが新しく活動に参加していただきたいと声かけしているのですがなかなか人員の確保に困っています。何か良い方法はないでしょうか

家庭ごみは市で助成が受けられるコンポストを使って畑に入れる堆肥を私は作っている。少しではあるが地球温暖化防止のためにもつながっていくことであるため地域住民で力を合わせて取り組んでもらうと良いと思う。

地域ぐるみのあいさつ運動で子供達のためではなく地域住民全体で取り組んでいくことにより人と人との信頼関係が生まれ、ひいては明るい元気な町づくりとなっていくと思われるので全体で取り組んでもらいたい。下有知地域は農業地域が主体となっているが、住宅地域、商業地域の中で大手の企業を受け入れて町を発展させてゆくために住民の意見を聞くミニ座談会を設けて意見交換をしながら意見を行政に訴えていくことも必要でなかろうか。

言うがやすし、行うのは難しいと思います。できることと、できないことがあると思いますが、住みやすい地域づくりのために、少しでも前に進むことが必要だと思います。

みんなで語り合いながら、その中でどでかい知恵が生まれてきます。

下有知という地域は良くも悪くも、田舎でもなく都会でもないという雰囲気を持っていると思います。都市への環境移動はほっといてもなっけていきますが、この田舎的な面をもっと引き出すことができればと思います。そのためには昔から豊饒な土地とそれに支えられてきたであろう豊かで穏やかな諸先輩の方たちの力を大いに利用して、伝統文化、地域の行事等を絶えさせることのないように、若い人や新しく住民となられた方々を積極的に引っ張り込むことが大切だと思われます。強制しない、閉鎖的雰囲気をなくすことを心掛けることが、年配者として大切ではないでしょうか。

今後、ますます市の財政は厳しくなると思います。よって議員数を減らしたり、報酬を下げたり、民営化の推進(ごみ収集、下水道事業etc)化を図り、市民の負担をこれ以上増やさないことが大切だと思います。その上で、子育て家族(若い人)が気楽に参加できる行事を増やす、また行事等の企画、立案、実行に若者をできるだけ参加させる必要性があると思います。

日頃いつも声を掛け合ってあいさつ運動する。(特に老人の方々に言葉を交わす)

みんなで力を合わせて取り組みをしながら地域を見直し、自分たちの住んでいる下有知をよくしていく。下有知は市内でも数少ない住みよいところと思っています。これからも住んでいてよかったと思える地域のために役員皆さまの頑張りを望みます。近所の人たちと交流し、連絡を取り合える体制が大事かと思います。老人クラブでミニ集会を2~3ヶ月に一度くらいの予定で行います。いろいろな意見が出て、楽しいひとときを作っています。

下有知よいとこ、畑どこ、田どこ。これからは人間が良い人、心が良い人づくりです。ぜひこの街づくりを成功させてください。

地域の魅力は安心して住めることだと思ふ。

現在は心おだやかに暮らしています。年を重ねるごとに不安が多くならないような地域であってほしいと思います。

老若男女共に楽しく過ごせる催しがあると良い。地区内での情報を発信し、公表する事や、地域住民の安心安全の生活が保たれることを望む。

地域の魅力を自慢するために下有知の伝統、衣食住、祭りなどをおじいさん、おばあさんたちが子どもたちへ伝えていくことにより、住民どうしが絆を深められると思います。住みよい地域にするために他人のおじいさん、おばあさんたちが、子供たちへ昔の遊びや勉強など教えてあげたりして、放課後の時間などいっしょにいられたらいい町になると思います。障害者の人でも楽しくできるスポーツを地域でやれるといいと思います。

それぞれの区の中にある公民館を最大限に活用することです。例えば百円コインでコーヒータイム(当番を作って、都合の良い人達でやってもらえると良いと思います)を来て下さった人達にゆっくり過ごしてもらえりような憩いの時間・場所だったりするとよいかと。子供達に開放的な時間を作ってあげる事。そしてその中で、地域を良くしていく為のきっかけにポストを設置しどんな悩みごと書いてもらえるようにするなど、やれることから取り組むと良いと思います

(75歳~84歳)

まずは“人づくり”から。

- ・親孝行
- ・地域(地元)の自然を愛し、親しむ心掛け(子どもが自由に)
- ・親ばなれ、子ばなれの解消
- ・下有知だけの問題ではない。近辺市町村の合併により広範囲で考えるべき。

まずやらなければいけないことは少子高齢化の流れを何とか止めなければなりません。このままでは下有知(否、関市)が将来は消滅してしまいます。
そのために、何とか若い世代に住んでもらうような町、市をあげて対策を真剣に考え、実行する必要があります。そのためには、若い人が働ける場所を作る必要があります。企業誘致、新しい産業の創造、育成、共存産業の変革、拡大、その他・・・とにかく雇用拡大出来る産業の創造こそがまずやるべきことと思います。そのため、市民の知恵はもちろん市外、県外からのアイデアも募ってほしいと思います。時間はありません。

下有知外から転入された方にも下有知の良いところを知ってもらおう活動が必要。交流の場を設け、従来からの住民と新しい住民が親しみ合えるムードをつくる。

昔のように下有知良いとこ 畑どこ 田どこ 山紫名水の明るいまちづくりがいいと思います
住みよい町づくりは希望が持てる。
サルのないことを。87年間で初めて地元に出て来た。

高齢者の問題をどう考えていくか、どんどん数が増えていく中で。
若者が住みやすい所に、下有知の若者の数を増やすには。

(85歳～)

当地区でお世話になって5年近くになりますが大変に暮らしやすく住み良い地区かと思って暮らしております。昔から地域の発展は南か東の方角へと耳にしたものですが、関市の場合は私は北の方面に(洞戸・板取方面)と思っております。最近の例でも関市を代表するものは大変多く下有知の方面に見受けられます。下有知地区住民としてますます発展することを祈っています。

高齢化社会の問題をどう考えていくか。
下有知が若者の住みやすい場所にし、若者の数を増やすには。

(不明)

自治会に加入して町会を定期的に行うことで自治会の問題はわかりませんが、下有知全体の問題を知る機会がない。祭りや講習会等の情報の充実や問題点の共有化。小さい問題でも取り上げやすい環境をつくる。災害時のために高齢者(特に一人暮らし)の数と住居の把握。関市は刃物が有名ですが、下有知自体ではないので、地域として何か考えてみる。

下有知についてとは違うと思いますが、独り暮らしでも不自由なく暮らして行けるような地域づくりをして欲しい。そのためにボランティアでできることはしたいと思います。自分の中でゴミ問題は大きな問題になっており、もうすこし緩みのある収集にして欲しいです。住んでいる所(市)によってこんなに違うのを詳しく説明して欲しいです。年を取り、あまり働けなくなり、収入も減っています。一般で働かれている人と同じでは・・・ちと考えて欲しいです。

下有知、関市のイベントにはできるだけ参加しようと思っています。出かけるだけでも良いと思います。1年間なかなか難しいですね。趣味とかで暇がありません。今は絆も薄くなっています。外に出てお会いする人は声を掛けるように心掛けています。今はプライバシーとか神経質すぎるのではと思うこともあります。一人一人が賢くなり、だまされないように気をつければもう少し大きな心で皆に接することができるのではと思います。下有知をよくするにはまず身近な自治会から和やかなまちづくりだと思います。

イベント・スポーツ

(16歳～19歳)

スポーツチームがあるととてもいいし、交流が深まると思う。サッカーや野球チームなど。

地域でのウォーキングなどのイベントを増やすと運動する機会が増えるので良いと思う。

祭りなどのイベントを増やす。

(20歳～29歳)

体育館でママバレーなどをする。

地域交流のためにも、スポーツ大会やイベントをたくさん開催してほしいです。各学校だったり、(スポーツ)クラブチームの団体ごとに出しものをしたりすると盛り上がると思います。

小規模でいいのでお祭りなどがあれば楽しいと思う。やっているのかもしれないけど全く情報が来ません。アパート住まいの人にも手紙などで情報を伝えてほしいです。

(30歳～39歳)

子供と一緒にウォーキングや軽スポーツに参加させて頂いているので、これからもぜひ家族みんなで参加できるイベントを続けてほしいです。

イベントなどの情報をもっと詳しく案内して頂けると、知っていれば行こうと思います。世代が一緒、子育てしている方などの行事や集まりがあれば良いと思います。

スポーツ大会とかバレーボールすらできないのでいやです。もっとだれでもできるのでお願いします。

新しく引っ越しをしてきた方も多いので、近所づきあいがしやすいようなイベントがあると良いなと思います。

運動会の復活。

(40歳～49歳)

祭りなどは開催しているが多すぎてわかりにくいので、お茶会などを開き交流を深めてみてはどうでしょうか。

神事(まつり)が面倒。意味・目的が不明。仕事を犠牲にしてまで参加しなければならない。

地域住民や高齢者が生き生き暮らせるよう、もっと気軽にふれあいセンターに人が集まれるようイベント活動を増やしたら良いと思います。

仕事をしているので、まわりの方(住民)と交流がまったくないので、スポーツ大会など参加しにくい。

(50歳～59歳)

地区がはしからはしまで広いので、参加しやすいものができればよいと思います。スポーツにしても地区対抗を下有知地区に住んでいる人対象にかえて参加しやすいようにできたり、新しいプチ団地の人の参加できるようなイベントや場所があればよい気がします。

地域の高齢化、共働き夫婦が増える中、地域で行われるグランドゴルフやバレーは交流の場としてとても良いと思いますが、役員に当たっている方が高齢の方でとてもたいへんだと思うことがあります。また、年に1回下有知地域で年齢を問わずウォーキング大会をやっていくほうが、準備や練習、時間も費やすことはないので一度試みてはどうか。

区全体としての交流の場が少ないと思います。年1回全員参加できる行事を考えていただければと思います。

(60歳～64歳)

下有知の同年ソフトというのがあって今もやっていますが、年々チーム数が減っていつまでできるかという状況です。何かを地域でやろうとした時に、遊びの部分で世代を超えたつながりがあるとスムーズに事が運ぶということは少なくないと思います。同年ソフトはひとつの例ですが、他には町内野球とかそういったレクリエーションをスムーズに積み上げていく人間関係を活用して、次に何をするかと進めて行くのはひとつの方法です。

(65歳～74歳)

例えば高齢者のスポーツ等話を聞きますと難しいようですので色々意見を聞いて、楽しいスポーツ、その他の行事もできるといと思います。

高齢者、若年者、子供等が合同で参加できる行事を定期的で開催し住民相互の親睦をはかる。

高齢者支援

(16歳～19歳)

高齢の方々と接する機会が少ないので、地域の子供や高齢者などが接する機会を増やせばもしもの時の対応に困らないと思う。

(20歳～29歳)

高齢化社会になってきたため、高齢者が住みやすい環境づくりが必要だと思う。

(40歳～49歳)

車を持っている者にとっては、特に問題はありません。ただ、周りを見ても高齢者が増えたように思いますが、その高齢者は車なしではとても住みづらいらるうなと思います。

元気な高齢者が多い地域なので、現役世代・子育て世代の負担にならないよう、協力してもらおう。

(50歳～59歳)

超高齢化社会を迎えるにあたり、今みたいに車に頼る生活にも限界があると思います。いつまでも車の運転ができるわけでもないし、そうならないためにも買い物などに行くための交通手段を考えていく必要があると思います。まだ具体的にどのようにしたらいいか考えがあるわけではありません。

(65歳～74歳)

敬老会について、体育館の床に座って数時間は高齢の方にはきついのではないかと思います。

杖をついたり、押し車を利用している人たちが気楽に集まれる場所がほしい。

特に老人のみの住宅への支援、車に乗れない老人に対して買い物や病院への送り迎え等、困っている日常の仕事(力仕事や高い所での作業)の支援が出来るとうい。

高齢者宅の支援強化(買い物、掃除等困っている事への支援活動、見守り活動の強化)。

敬老会はそれぞれ近くの公民センターにて行ってほしい。今は知らない人が多すぎて和気あいあい楽しめないと思う。

区ごとに1週間に1回なり2回、公会堂などを利用して高齢者が憩いの場としてお茶を飲んだり、昼食などをしながら楽しく話し合える場があったら良いと思います。また参加することによって色々なことが勉強になったり習い事などが広がっていくとういと思います。参加者が多少の金額を負担は必要かと思っています。

公共交通

(16歳～19歳)

交通機関を充実させてほしい。

交通が不便で困ることが多々あります。

もっと電車を多くする。

(20歳～29歳)

公共交通機関が少なく電車は長良川鉄道というローカル線しか通っていない。岐阜バスが通っているのでまだ名古屋など都市に行くことは可能だが不便だと感じる。

交通の便が良くなるとよい。

バス停、スーパー、ガソリンスタンド等を増やす。

岐阜や名古屋への交通アクセスがよくなく、車がないとどこへもいけないので、交通の便をもっと良くしてほしい。下有知の自慢できることがないと思いますので、魅力の発掘をし、広めていけるといいと思う。

下有知だけでなく関市に言えることですが、公共交通機関があまり充実していないように思えます。昼間などぼちぼちあるようですが、夜に岐阜などで飲み会などがあっても帰る手段がなくて、不便だなあと感じています。

(30歳～39歳)

近隣の美濃加茂市、各務原市等への交通手段が自家用車に負っていると、職場での飲酒機会に困るため、バス等路線を整備していただければ、相互に行き来がし易くなり、居住者が増える。

岐阜市や羽島市方向に電車が通るといいです。

電車がないのが不便です。

買い物が大変。今は車に乗れるが、運転できなくなったらいちいち代行サービスかタクシー呼ばないといけない。同じ関市なのに旭ヶ丘とか緑ヶ丘などの地区はバスが走行している。ありえないと思う。

名古屋に行くのにも市役所までバス停がない。電車もない。

(40歳～49歳)

他地域までの公共交通を充実させて、若い時(幼い時)から文化や知識、幅広い体験等できるように風通しの良い地域づくりが必要だと思う。

公共交通機関が不便すぎます。

公共交通が不便なのでなくしてほしい。

(50歳～59歳)

岐阜や名古屋への通勤・通学に大変不便です。もっとアクセスを良くしてもらえれば生活の幅が広がり、選択肢が増えるのでありがたいです。

環境は良いと思うが、公共交通機関はない。バス路線の拡大による利便性アップを。

(60歳～64歳)

交通の便の悪さ。

下有知地区は、公共交通、買い物など日常生活に少し不便なところもありますが、自然環境が豊かな下有知地区にこれからもずっと住み続けたいと思っています。

ゴミ出しの場所をもっと増やしてほしい。

(65歳～74歳)

岐阜市、名古屋市へ、自動車を使用しなくて済む交通手段の充実を。

公共交通が不便なので、なんとかしてほしい。駅まで遠かったり、高齢者は大変だと思う。

(75歳～84歳)

関までの交通の便が悪く、スーパーやマーゴの湯にも行けないのが大変です。

寺田団地でお世話になっています。26年10月1日から寺田団地まで来てもらえたバスが中止になりまして、デマンドタクシーになりましたが、私たち高齢で自家用車にも乗れないため、中濃病院まで行くのに1人300円、主人と2人で往復1200円。それにコンビニ、スーパーも近くにないため1200円入ります。デマンドタクシーも1時間半前に予約をしないとだめです。本当に不便で困っています。1日に1本でも前のようにバスが来ていただけるとありがたいと思います。

道路・交通安全

(16歳～19歳)

小学校の登下校など交通安全のために立って指導して下さっていますが、まだ危険な所はあると思うし、日照時間が短い冬は特に夕方暗くなってから危ないので、電灯などをもっと増やして欲しいと思います。

(20歳～29歳)

上切の点滅信号の信号無視(車側)が多いので、何か信号無視がなくなるような強化をしてほしいと思います。渡る時に危険。特に高齢者や子供など。

国道156号につながる狭い道路など、交通整備に関しては見直しが必要とも思います。

(30歳～39歳)

車通りの多いところに歩道橋や横断歩道をつけてもらえたら、子どもがいる家庭は安心だと思います。

私が推進していきたい事は、『LED街灯モデルの町”下有知”』と抜け道を減らし住民の方が安心できる町”下有知”『ゾーン30』や『時間帯規制』の実施を行いたいです。

下有知は広いです。小学校へ通うのにすごく遠い子もいます。安全に通いやすいように道の整備には気を付けてもらいたいです。

地や4M道路幅がない狭い道路などの区画整理。救急車が入れないところがある。曾代用水近辺の安全性強化。子どもが落ちそうで怖いです。

(40歳～49歳)

通学路の川や道路など柵をもっと増やしてほしい。

公園などがあるのに道路で遊んでいる子がいるのを見ると、使いにくい環境なのかなと思います。路上駐車を
する家庭もあり、ルールを守っているところとの意識の差があると思います。

下有知重竹の交差点に出る道が非常にせまいにも関わらず交通量が多く近年子どもの数も増えたので広く
整備してほしい。R156号線の道路がでこぼこの所がある(下有知神社付近)。下有知重竹の交差点を2車
線に。

関ノ上入口下の点滅信号から南の道路、関ノ上入口より北(美濃に通じる道)の道路に歩道・自転車が安全
に走れるようにしてほしい。

トーヨーキッチンあたりから美濃方面の県道、歩行者や自転車の通行がホントに危ないと思います。無理か
もしれませんが、歩道があると安心です。

登下校に非常に危険な道路が多いと思います。学校近くなのに歩道もなく車のすぐ横に行くのは見ている
気の毒です。雑草もそのまま余計に危ないです。市役所や大通りにように細やかな整備をこういう地域の
生活道路にも広げてほしいと思います。

(50歳～59歳)

下有知から、わかかさプラザに行こうとすると旧美濃町線の通っていた道路を横断することになりますが、横
断歩道等がなく車がなかなか止まってくれません。高齢者にはつらいものがあります。せっかく良い施設が
近くにあるので、安全性の高い地域になればよいと思います。

(65歳～74歳)

重竹交差点の早期改良を。危険な道路なので国道と市道ともに改良する。

(75歳～84歳)

道の舗装をしてください。

道路の整備

道路の段差をなくして欲しい(曲がり角など)。アパートや持家が増え車が多く通るようになったのでマナーを
守って通るように話し合ってください。

生活環境

(16歳～19歳)

生まれてからずっと下有知に住んでいるので住み慣れているし、自然災害もなく住みやすいと思います。買
い物に行ける場所も程よい近さにあって便利だと思うし、交通機関による迷惑も感じたことはほとんどあり
ません。私が将来、下有知から遠い地域に住んでも実家に帰ってきたときに安心できる地域だと思います。
そのために田んぼとかあまり売らないでほしいです。今ある田んぼが、大人になって岐阜に帰ってきたとき
に賃貸になっていたりしたら悲しいので、田んぼや畑など田舎らしさを下有知に残して、野菜もたくさん取れ
るといいと思います。

(20歳～29歳)

身近に山や川があって子供のうちから自然に親しみやすい環境であり、その点においては他の地域にも自
慢できることだと思う。

自然が多いので、自然を生かす、守る共存が大切だと思います。そのために清掃、道路の整備が必要だと思います。

ほどよく田舎でほどよく街で住みやすいところだと思います。近所の人とも仲が良くて安心して住めています。

下有知は美濃ICにも近くて、自然が多くあり静かで住みやすい所だと思います

(30歳～39歳)

下有知のアパートに住んで4年になりますが、その中で一番不憫に思うのは、関市の広報の放送が聞き取りにくいことです。数か所にわけて放送されている様ですが、まったく聞き取れません。他には、近くに田畑が多いのもみがらを燻煙しているときのおいしは仕方がないと思いますが、よくビニール系のものを燃やしたい臭いがします。畑や裏庭に焼却炉のある家があるので、気にはしているのですが。

ごみの集積所が家から遠く「もえるゴミ」1袋捨てるだけでも車で運んでいます。歩いて行けるすぐ近所にも集積所はありますが、他の地区が管理しており、使うことができません。近くの集積所を素通りして遠くまでごみ捨てにいくなは不便です。日常のことなので改善されればと思います。

(40歳～49歳)

24時間365日回収するリサイクルステーションを作してほしい。

周辺の方は平気でゴミを燃やしています。近所の方々への配慮があればこういった行動もできないでしょうし、自然と絆も深まるのではと思います。

(50歳～59歳)

主だった川が自然の川ではなく、用水が多いにも関わらず、野鳥の種類が比較的多いような気がします。環境が悪くならなければよいと思います。

最近よくみかけますが犬の糞が道路ばたにしてあります。なにか良い方法はないですか。

ゴミの分別について プラスチックの袋をなくした理由がわからない。今までせっかくプラスチックの分別をしてきたのに、いまさらなくしても意味がないように思う。プラスチックをなくした事で燃えるごみの量がふえてしまい、これではごみをへらす事ができないので、プラスチック袋の復活をしてほしい。

(60歳～64歳)

自治会にも入らないで、近所の悪口を言っている人がいます。いったいごみはどうされているのか。

資源ごみ回収について、マナーの悪い人、知識のない人が多い。

(65歳～74歳)

街灯を増やしたり、花などを植えて美しい町をつくりたい。

私の住居地区はポイ捨てが多く、多くたまる前に拾ってまわります。同一人物だと思われるものもあります。ポイ捨てしにくい環境づくりを。

いつとなくうやしをして臭い。

大人、子供が平気でゴミをどんどん捨て道路や環境がよくない点が多い。意識が低い。下有知へ来て驚いたのは、空き地は宅地なのに木や草が茂り、また、もとは農地でありながら、よし、木、ササなどが茂り、農地はおろか環境が悪く、ゴミの不法投棄になっている。こんなところが関市にあるのか。なさけない。市長も下有知市民も異常な心の持ち主だ。今つくづく思う。通信がきたので書きました。よくない環境には人間の心まで腐るのではないのでしょうか。

家の裏にサルが出て家庭菜園を食べたりして荒らします。何か対策をしていただいてほしいです。近所には山があるからかと思いますが。

(75歳～84歳)

曾代用水の岸(土手)の草刈が大へんです。夏は蚊が多いので地域で撲滅したい。花の苗木や庭木の始末に困っています。燃えるゴミ袋は入れにくいし、燃やせば袋(石油製品)から少ないから公害物質が出る。袋をお借りして(有料でも)集めるように出来ないか。生ゴミは全部始末している(土にいれる)。

(不明)

むかしは本当に何もなかったところですが、今ではアパートがたくさん建ち、コンビニとかコーヒー屋さんとかたくさんあります。今では昔とは全然かわってしまい大変ありがたいことです。

防災

(16歳～19歳)

災害がなく、平和な地域だと思う。

(20歳～29歳)

消防団について、区から一人は出るという話を聞いているのですが、そういう制度は少しちがうのではないかと思います。できる人をどんどん入れて地域の防災面をもう少ししっかりとして、少しでも情報を聞かせてもらいたいです。実際に下有知の消防団について全く分からなく、災害が起きてしまったときにかなり不安です。

災害も少なく、安心して生活できる場所だと思います。

(30歳～39歳)

消防団の地域の支えが不可欠。特に後継者に対して、不理解者が多い。公平で、負担の少ない活動にしたい。

消防団など自発的に参加してほしい。
自分は3年間という約束でしたが次の世代の方が決まらなかつたため延長をしなくてはならない状態です。何かもっと消防団に入るとメリットがないと次に入ってくる団員は大変かと思っています。

地震にそなえて、防災訓練や防災マップの配布(毎年)があると危険意識が身に付き、いざという時、住民の協力が得られやすいと思います。

(50歳～59歳)

災害が少ない。

消防団の活動、若い人が少ない中、頑張っていて活動してくれている。5年終えてからの報酬が自治体によって違いがあるようです。いろいろな面で魅力が必要だと思います。

必要だとは思いますが、消防団の団員確保に問題があると思います。民間の会社や自営業の中には仕事を休みづらい空気や自営の内容によっては仕事が減ってしまう場合もあります。公務員や大きな会社におつとめの方のようにお休みがはっきりしていたり、時間がきちっと守られている、有給が取れる等の感覚で話をしてもらうのはつらいです。今のやり方では強制的すぎ。入ったらやめさせてもらえないなど、まるでいけにえの様です。時代が変わったんではないでしょうか。

(60歳～64歳)

災害が起きた時、公民館及び学校が避難場所になっているが、ライフラインが止まった時のために公民館及び学校にソーラーパネルの設置すべきだ。

同報無線は聞き取れないので、各家庭に受信機を設置したほうがよい。

仕方ないのですが、夜勤があるので昼間の放送が困ります。

(75歳～84歳)

自然災害(地震、火災等)が一番心配されます。特に火災は地域で防ぐことが出来るので、消防団が活躍されているものの、勤めで不在が多いため、定年退職者(男女60才～75才までくらい)の自主消防団を組織化して欲しいと思います。災害は特に初動強化が必要かと思います。

防犯

(16歳～19歳)

夜は道が暗いので街灯を増やせるとよい。

(20歳～29歳)

小学校の北側の道路に街灯がないので、街灯をつけてほしいです。

少し田舎へいくと街灯がない所があり危険だと思います。ウォーキングをする女性が増えているので安全のためにも設置してほしいです。

慣れてるから気になりませんでしたけど、「街灯少ないね。」って言われたことがあります。

(30歳～39歳)

防犯のため外灯をもっと増やしてほしい。
家のまわりは夜暗くて外がこわいです。

今の分譲住宅のところに街灯がなく、とても暗く夜は物音など気になります。一定の間隔で街灯を付けてもらえれば防犯にもなります。

下有知にも子供が習い事をする教室がたくさんあります。特に冬は早く暗くなるので細い道にも明るい外灯があるといいなと思います。

街灯が少ないので、子どもの登下校道を中心につけてほしい。

住んでいるところは街灯が少なく、子どもが大きくなって夜ひとりで帰ることを考えるとぞっとします。

(40歳～49歳)

外灯が少ないため多くしてほしい。

街路灯を増やしてほしい。

大きな事件もないし、完全に安心とは言えないけれど、今のところはほぼ安心して暮らせる町だと思います。子供がどんどん少なくなっていることが残念です。

街灯が少なすぎ。健康増進のためウォーキングの普及を目指しても、夜に実施する人もいる。また、子どもたちの防犯、安全を考えたとき、街灯が少ないのは住みよい地域とはいえないのでは。

中学校区が広く、遠い生徒も徒歩登下校になっていると思いますが、特に冬は暗くなってからの下校生徒を見かけると危ないなと思います。地域での見守りも必要だと思いますし、街灯整備も必要な箇所があると思います。自転車登校の検討はされているのでしょうか。

街灯が少なすぎと思います。

健康増進のために「ウォーキングの普及」とあるが、ウォーキングが昼間だけとは限らない。夜でも実施できるように街灯を普及してほしい。これは地域の人々、子どもたちの安全や防犯にもつながると思う。

(50歳～59歳)

防犯上の問題を考えて、防犯灯を増やしてほしい。防犯パトロールの強化。この地区はグラウンド、老人ホームがあり、この地区以外の人々の往来が多いので、防犯を強化してほしい。空き巣等も発生している。

(75歳～84歳)

街灯を増やして欲しい

公園

(16歳～19歳)

広い土地を生かして、幅広い年齢の人が遊んだり運動したりできる、緑地公園的な場所を作ってほしい。

子どもが安全に遊べて、親が安心して見ていられる公園を作ってほしいです。

公園も自分が小さいころからあったような公園ばかりで、色は塗り替えてあつたりしますが、子どもと行くなればやはりキレイで新しい公園がイイです。個人的には今作っている高速道路(下有知のミニストップの近く)の下のところ公園になってくれたらいいのになあと思っています。

(20歳～29歳)

子どもが遊べる公園を作ってください。

公園を作る

公園が欲しい。子どもが産まれた時に遊びにつれて行ける場所があったらうれしい。

(30歳～39歳)

子供達が遊べる公園が少ない。外で安全に元気に遊ばせたくても、場所がなくそのため親同士の交流の場もない。

子供達の遊び場として、校庭・公園等がありますが、屋根のある遊び場があるとよいと思います。下有知が運営する体育館やテニス・フットサルコート等の全天候型の施設があれば魅力的ではないでしょうか。

子供が1人いますが近所に公園がなく同世代の家族と知り合う機会が少ないので公園を作ってほしい。道路ではなく安心して遊ばせれる場所が欲しいです。

子どもたちが遊べる公園がないので子どもたちも健やかに育つと思います。

子どもの数も増えているので、歩いていける距離に公園や広場など安全に遊べる場所がいくつかあると良いなと思います。

公園を増やしてほしい。

新しい家がたくさんあり、子どもも多いのに遊べる公園がなく近所さんと顔を合わせることも、子ども同士の交流もないのはさみしいです。

公園が古いので新しいものをつくってほしい。江南元町地区に徒歩で利用できる距離の交流場所があるととても嬉しいです。

子どもが伸び伸び遊べる場所、公園が少ないと思う。家から歩いて行ける範囲で小さくてよいのでちょっとした公園があるとよいと思います。

(40歳～49歳)

ボールや自転車、キックボードスケボーなど遊べる公園があるとうれしい。

公園がきれいで使いやすくなるとうれしいです。雨上がりはブランコの下に水たまりができて困っています。

子ども、親が交流できる複合公園のような施設があるとよいです。ウォーキングしたり遊べたり、安全に自転車が乗れるとよい。

下有知には公園が少ない

(50歳～59歳)

公園や遊歩道を作ってほしい。

公園の設置、児童館の設置。

(60歳～64歳)

家の近くに公園がなく、子供たちが安全で安心して遊べる場所が増えるといいと思います。

青少年健全育成・子育て支援

(16歳～19歳)

子どもたちのために、距離によってですが自転車通学にしてほしい。

部活終わりで遅い時間に下校する時暗くて危ないので電灯を増やしてほしいです。とにかく暗いので。長鉄の路線ぞいが特に。

(20歳～29歳)

生まれ育った所なので住んでますが、子供達が安心して生活できる町、みんなで楽しく生活できる町にしてほしい。

(30歳～39歳)

地域で子供が放課後集まれる場、公民館などがあると助かります。

地域で親子(特に赤ちゃんと母親)が集まって遊べる場所を作ってほしい。子育て世代と地域の老人の交流を頻繁にやれたらよいと思う。

結婚し、アパートで下有知に住んで、もうすぐ子どもが生まれる予定ですが、下有知が行っている子育て支援(保健センターの講習時に案内された母親・親子教室のようなもの)の情報が何もありません。このアンケートをもらうまで、自治会の存在、活動も全く知りませんでした。新しい世帯が入りやすいアパートなどに案内されてはいかがでしょうか。

(40歳～49歳)

だれでも学童を利用できるようにしてほしい。学童の入所募集が広報でしかしていないのはおかしい。学校や保育園などで知る権利があっても良いと思う。

未就園児の集まりが増えるといいなあと思いました。(すくすくランドが区ごとの集まりがあるといいと思いました。)

小学生が横断歩道を渡った後、深々と頭を下げお礼をいう姿は、とても気持ちが良い。その反面、道路の真ん中で棒を振ったり、車が来るのによけもしないで遊んでいる姿を見ると、親が子供に示す姿勢がわからなくなってくる。子どもは宝。もっと地域、学校が良し悪しをはっきり教えることが大切だと思う。知らない人でも、会えばしっかりあいさつする。子どもからは少しはずかしがったりもあると思うので、大人から示すことが大切だと思う。それと感謝の気持ちを教えること。大人ができていない。残念です。

子ども会の行事、お祭り、山の講など数多く残っている地域なのですが、町内によっては子どもの人数が少なくなっているため、中学生までの参加や町内を合わせて区単位にする。スポ少などの活動は、子供会を優先させて練習、試合を無しにするなどした方がよいと思う。

子ども達をもっと気軽にふれあいセンターを利用できると良い。(遊びの場、学習の場、交流の場として)

(50歳～59歳)

子どもの数が少なくなっているため、子どもがいる家庭の負担が多い。例えば小中学校行事の資源回収等、長期間を2～3軒で対応しなければいけない状況になっており、昔から続いている子供会の存続が危うい状態です。地域全体で子どもを育てる仕組みが必要だと思います。

子育て支援のサークルみたいな親子で月1程度参加できる場所があつていいと思います。時には年配の方(子育てが終わった人)とかの経験話を聞いたり、相談したりの場があると若い人たちだけでなく年配の方とのコミュニケーションとかふれあうことができるのではないのでしょうか。

食育活動の活性化。

(60歳～64歳)

私は一才半の孫がいます。ふれあいセンターに連れていっても寒くて遊ぶものもありません。以前は少しあった様に思いますが。危なくないもので少しでいいので置いてほしいです。娘も娘の友達も同じ事を言っています。

近年、子どもの連れ去りとか、無防な運転の車による登下校時の子供たちの事故による被害が増えています。それを他人事だと安心している時世ではないと思います。下校時の子どもの安全を見守るような子供見守り隊としてボランティアで働ける老人等の活動が下有知でもあるといいと思います。そうした中で、あいさつのできる子供を育てていとか、子供の非行に対して声かけのできる地域になっていけばいいのではないのでしょうか。

(65歳～74歳)

子育て支援を行える地域に。

(75歳～84歳)

「あいさつ」ができる人。子ども大人ともにまず第一歩だと考えます。

いちばん挨拶が大事かと思い、部落の中では、知らない人にも頭を下げています。声を出すと相手も心が和むと思います。

その他

(16歳～19歳)

高校生ぐらいの話のネタになったり、遊びに行けるような施設を作ると良いと思う。

(20歳～29歳)

犬の散歩コースを作ってほしい。

からちゃん微妙。

キャラクターを作成するなどの無駄をなくしたほうがいいと思います。

ファミレスがあるといいと思います。

このアンケートに記入しなくても、回収の封筒に名前があるので、だれのアンケートかがわかるのが問題。

元ファミリーマートをセブンイレブンにしてほしい。身近にあったコンビニが無くなると、とても不便です。下有知にはスーパーがない。

ファミリーマートの後地を早くコンビニにしてほしい。

回答方法に氏名を記入する必要はないと書いてあるが、今回のように封筒に氏名の入っているシールが貼ってあれば、書きにくいことがでると考えられます。次回、行う時にはシールを貼るならば初めから記名をする方法が良いと思います。

(30歳～39歳)

ショッピングセンターが遠い。

中学校の部活について、女子の部は多いですか、男子の部が少なく残念です。

病院、スーパー、公共施設などが近くて良いと思う。私が住んでいる近所の方も親切な方ばかりでとても住みやすい。

下有知はとても過ごしやすいので引っ越してきてよかったです。

昔ながらの地名(町名)を記した地図を作成していただきたいです。外から下有知に入ってきたのですが、昔からみえる方々は昔ながらの町名で話をされるので、どこの事が全くわからないときがあります。それがわかる地図を作成していただけるとありがたいです。

閉鎖したテナント、ファミマ、中有知診療所などの再利用化を望む。

とても住みやすくよいと思いますが、スーパーや飲食店が少なく、買い物に少し遠くまで行かないといけないのは大変です。下有知も昔に比べて新しい家がたくさん建ち、人数も増えて、にぎやかになってきたと思います。田んぼ道を歩いたり、山の色が変わっていくところが見えたり、そういう自然がきれいなところもとてもいいと思います。

(40歳～49歳)

ふれあいノートの名前を、ボランティアカード[※]やお手伝いカード[※]などもっとわかりやすいものにしてほしい。

無記名と書いてあるが返信する封筒に名前が記載してある。その配慮をお願いしたい。

下有知にはスーパーがない。移動手段は車が多いが、近くにも買い物できる施設があれば充実すると思う。

回答方法に氏名の記入の必要がないとあるが、配布された封筒にすでに記名してあるため同じ封筒を使用したのでは意味がない。

今は大学が遠くにあるので、なかなか帰ってこれないが、卒業したら帰ってくるつもりなので、それまでもっと住みやすいまちになっていると良いです。

市議員をやめて区長を選んで地区の意見を反映していく

下有知在住1年です。近所の方が良い方ばかりで住みやすく子供も伸び伸びしています。子供を連れて散歩してもみなさん気持ち良くあいさつして下さり、畑の野菜を頂いたりしています。

下有知中学校、小学校、下有知グランドの設備が悪いと思う。

もっと都会にして下さい。

自然がたくさんあるので、サイクリングなどができるような環境を作れたら、下有知の中でも楽しめ、下有知の良さを発見する事が出来るのではないかと思います。

スーパーがない。

(50歳～59歳)

自分の職場がある山田は、地区の人たち、いろんな役員が回ってきて、大変だとおもうのですが、集まりがあるたびにランチをされていて、皆仲間、協力性もできてきてまとまりのいい土地がらだなって思います。

下有知には特筆したものがない。今後何か魅力のある物を作り出していった方が良いと思う。

近くにコンビニ、スーパーがないのが不便。

後継者が出て行ってしまい老人家庭がどんどん増えています。関市内、下有知地区にもっと工場を増やして、地元で働けるようになると良い。

問23の前半の文章はだれの意見でしょうか。そのように考えていない自治会加入者もいます。未記名のアンケートなど、もっと個人が特定できない方法が良いと考えます。

下有知地区南部に大手スーパーを誘致して欲しい。(高齢者が自転車で行くことが出来るように)

自分の暮らしに精一杯で周りに目を向けるゆとりがありません。周りの人達に迷惑をかけないように暮らせたらと願うばかりです。

この地区には、近くにマーケットがないので市役所の付近に大型マーケット等があったら便利です。とくに高齢者の方にとっても大変不自由だと思います。道の駅のような小さなお店とか、そのまわりにはのんびりできる小さな公園とか…ちょっと外に出てホッと息つける場所ベンチがあって…そんな場所があったら自分も行って見たいと思います。お年寄り、子育て中のお母さん、私は子供は手が離れていますが、息抜きにちょっと行って見たくなる場所があってもいいのでは。ストレス解消の方法としてもぜひお願いしたいです。

今は仕事で寝に帰ってくるだけの家ですが、ずっとここで住みたいと思っております。時間が出来たら、いろいろなイベントにも参加できるようになればいいと思っております。

このアンケートはどうやって公表されますか。公表する方法を明記してもらわないと見ることができないかも。

(65歳～74歳)

互いの方々の気持ちが理解できる関ノ上であってほしい。他人の宅地に犬を入れ糞をさせ、注意をすると「あなたの土地ですか」と開き直る方もいる。道路にも誰も見ていないと取らない。取る袋は持って歩いているか。防犯のための飼育は理解できますが、宅地の持ち主に草刈をお願いしてください。もし、タバコの投げ捨てで火事になったときに今、関ノ上に何人家にいますか。責任はだれが。最近、環境がよいのか、猿が来ています。子供たちが安心できる通学路にも来ています。自然が良いと思いましたが、子供たちに被害がない対策を。

夜の会議をやめること。行事は役員、スタッフが疲れるのでやらず、楽しかったといえるものにする。

住民の絆を深めるため住民が交流できる場、機会を作ってほしい。たとえば下有知センターに卓球台を設置する。囲碁将棋セットを置く。空き地を利用し、パターゴルフ場を造成するなどの交流の場を設けてはどうかと思います。

アンケートはよいがただ集計して各項目別に数字的結果だけで終わってほしくない。必ず今後のまちづくりのためにどのように活用したかはっきりしてほしい。

このアンケートは年寄りに聞くより若い人に出す方がいいと思います。

関市に合併する前に、当時の状況を皆さんに話すると良い。

公民館の有効活用がなされていないのではないかと。使用料は区費で支払うなど使用しやすく地域の人々の集いの場所としていただきたい

このアンケートあまり意味無ですね。

(75歳～84歳)

いつの間にか独居老人になって皆様にお世話になっています。ありがとうございます。自治会に出ても何のお役にも立てず迷惑ばかりかけて心苦しく思っています。よろしく願い申し上げます。

80歳以上のアンケートはなくしてください。とても字を読むのが大変です。

(85歳～)

近所つきあいも問題なくいっており、自然豊かで環境の美しい下有知地区にこれまでどおり住み続けたいと考えています。

どこに住んでいるのと聞かれるので、下有知に住んでいるというと、下有知いいところだと言われることがあります。下有知に帰ってきなさいと私は言うことがあります。(持ち家でない人に)

(不明)

本アンケートとは任意であるはずなのに、家まで回収にみえて提出するべきものという態度をとられた。回答に氏名記入の必要なしとあるのに、アンケートを入れる封筒には住所氏名が最初から印刷してある。下有知地区が住みよい場所であることを望みますが、正直な意見が言えることができるアンケートなのか疑問を感じます。